



2013.7 vol.22

SEASON



ISSN 1349-3760

看護学部開設記念 白樺図書館特集… 2

鍛えの夏！

附属図書館 分館長紹介… 4

SBWに参加し読書に挑戦しよう !!…6

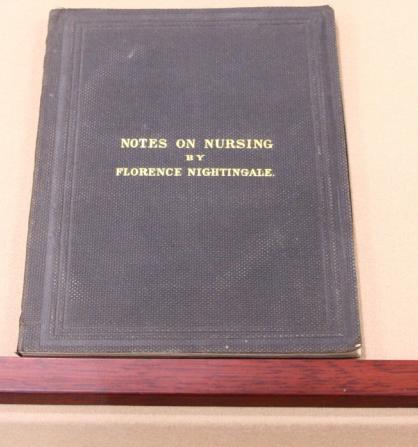
中国館 感知中国～中国を感じて知る～…5

図書館便り…7

看護学部開設記念

白樺図書館特集

本年4月、創価大学に看護学部が新たに開設され、看護学部棟内に「白樺図書館」が開館しました。今号のSEASONでは、白樺図書館をご紹介します。

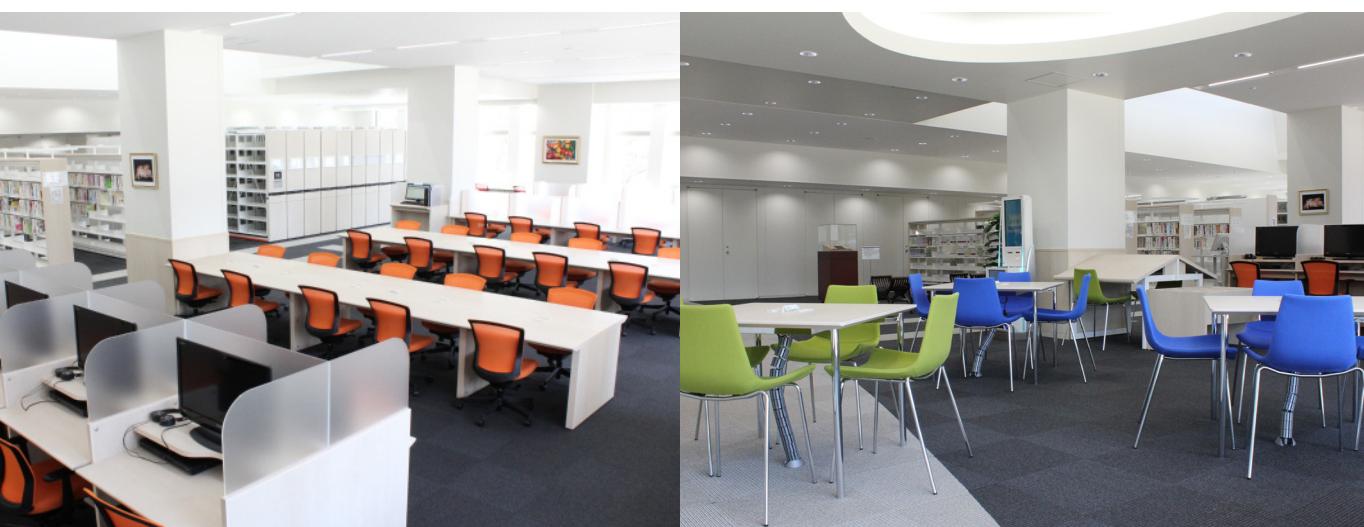


クリミア戦争下の野戦病院で死亡率を半減させて「クリミアの天使」と称賛されました。

この『Notes on Nursing』は『ナイングール著作集』(現代社)や『新訳』看護覚え書』(アセナ国際学術研究所)などで読むことが出来ます。また本学の創立者も『ナイチンゲールを語る』において、彼女について述べられています。

『Notes on Nursing』の奥には、看護・医学の専門書が配架された書架が並びます。まだ空白の目立つ書架ですが、これからも隨時書籍を充実させてまいります。

看護学部の設立理念は「生命の尊厳を基調とし、生命力を引き出す慈愛の看護を実践できる人材の育成」です。白樺図書館はこの理念を達成できるように、学生の皆さんのが学習をバックアップしていきます。看護学部生の皆さん。白樺図書館を大いに活用して日々の学習に役立ててください！



白樺図書館は看護学部分館として看護・医学系の図書を中心に、学部開設時に和書4,000冊、洋書1,000冊が用意されました。600冊以上の電子書籍(Net Library)も整備されていました。特に洋書の充実に力を入れ、看護学部の

館内は白を基調として、採光部を大きくとった窓や天井の吹き抜けから光が差し込む、看護学部らしい清潔感あふれる空間になっています。

最新看護索引Web「CINAHL with Full Text」を新たに導入しました。

『Notes on Nursing』(看護覚え書き)の初版本が展示しています。対側、カウンター前にガラスケースがあり、その中にナイチンゲールの『Notes on Nursing』(看護覚え書き)の初版本が展示しています。

「看護婦の母」として有名なナイチンゲールは、

特色のひとつである「グローバルな視点をもつた看護師」の養成をサポートしていきます。データベースも看護学部生向けとして、「医学中央雑誌WEB版」「メディカルオンライン」及び

まず入口の自動扉を抜けて右手にあるのは、新聞や雑誌の閲覧コーナーです。日刊新聞や医学系の和・洋雑誌を用意。真四角の白いテーブルに鮮やかな青や緑のチエアが映えます。

創価大学白樺図書館長 村島 さい子教授



寄せられたもので、看護師に考え方のヒントを与えるたいという目的で書かれたものです。日本では、初版「看護覚え書き」は、「看護の栄」という書名で、1913年、日本赤十字発行所から翻訳出版されています。

晩年、ナイチングールは、「もし、私が自由に出歩けるほど健康を回復できるなら、私はもう一度やり直すつもりです・・・」私は日々これ新たに学ぶでしょうし、また、過去の経験がある分だけ多く学びとるに違いありません。」と言っています。「生なれ、このような稀観本がここにあるのか、不思議に思いました。後日、開館記念にと入手してくださったと伺い、多くの方々のご配慮にあらためて感激致しました。

ところで、この本は、ナイチングールから1893年のシカゴ世界大博覧会の看護分科会に

看護学部白樺図書館にはフローレンス・ナイチングールの「Notes on Nursing」初版本が展示されています。黒紅色の表紙の、手のひらにのる程の小さな本です。初めて目にした時、なぜ、このような稀観本がここにあるのか、不思議に思いました。後日、開館記念にと入手してくださったと伺い、多くの方々のご配慮にあらためて感激致しました。

ところで、この本は、ナイチングールから1893年のシカゴ世界大博覧会の看護分科会に

看護学部白樺図書館にはフローレンス・ナイチングールの「Notes on Nursing」初版本が展示されています。黒紅色の表紙の、手のひらにのる程の小さな本です。初めて目にした時、なぜ、このような稀観本がここにあるのか、不思議に思いました。後日、開館記念にと入手してくださったと伺い、多くの方々のご配慮にあらためて感激致しました。

中 国 館

感知中国（～中国を感じて知る～）



中日国交正常化40周年記念行事「感知中国 in 日本」の一環で、中国の国務院新聞弁公室より寄贈された図書約1800冊の整備が整い、中央図書館4階の中国館で利用できるようになります。

中国からの留学生である

張茉さん（経営学部4年）、
陳靜萱さん（経営学部4年）

「中国館の蔵書について
は。」

陳さん：幅広い分野の最新の図書があります。特に文学は私たちが学校で習ったような有名な古典から、現在流行している作家の作品まであって、中国の今を

陳昱潔さん（文学部4年）に、中国館の感想やオススメの図書を伺いました。

——中国館の印象はいかがですか。

——オススメの図書はあります。

——中国館の印象はいかがですか。

——オススメの図書はあります。

——中国館の印象はいかがですか。

鍛えの夏！

SBWに参加し
読書に挑戦しよう!!

学生の皆さん！SBWにはもう参
加していますか？
SBW（Sooka Book
Wave）は創価大学伝統の全学読書
運動です。

SBWに挑戦すると、文章力が向
上します。大学院生の添削は、「授業
のレポートなどで使つても高い評価を
受けることができる表現」を基準にお
こなっています。

2013年度は「Reading Effect」読むことで世界は変わるものとのテーマのもとスタートし、現在約230名の学生が挑戦しています。
SBWは、参加登録をおこなったあと、読書感想文やショートレビューを提出。その後、大学院生が添削してくれ、承認されるとポイントが加算されていき、5ポイント毎に図書カードが贈呈される、という取り組みです。

感想文を提出された皆さん、せつかく提出した感想文が、「再提出」の評価をされた経験はありませんか？
感想文の場合、「自分の感想がきちんと書かれているか」、「句読点の打ち方に気をつけ、誰が読んでも理解しやすい文章になっているか」など、細かいところまで確認をしています。「再提出」となった場合は、どこをどのよう修正すればいいか、というアドバイスも記載されていますので、SBW

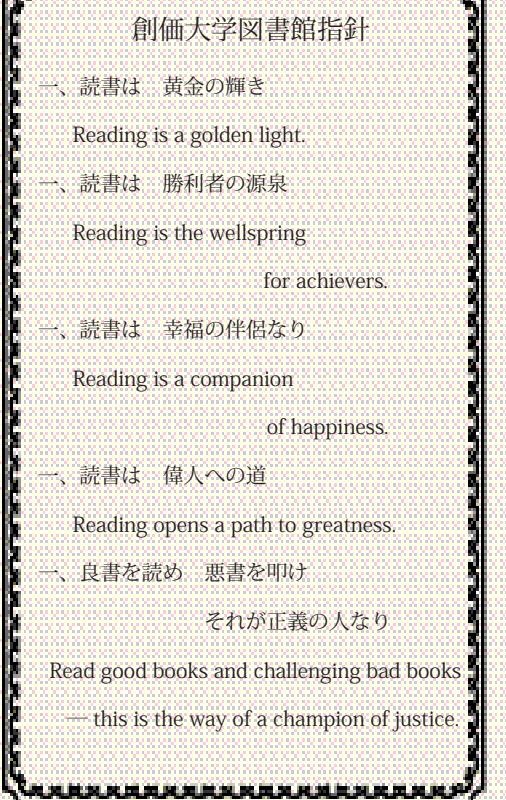
に挑戦し続けていけば、自然に文章力が向上し、しかも「正しい表現が身につく」ことになります。

今年度システムもリニューアルし、9月には、SBWサイトで他の学生が提出した感想文を見ることができるようになります。また、図書館の蔵書検索ページでも、詳細画面にSBWの感想文が表示されます。

SBWはますます進化していく

来年2014年3月は、図書館指針（別掲）が制定され、より10周年の佳節を迎えた。創価大学の読書運動は、創立者の学生に対する期待、それに応えようとするとする学生の熱意から湧き起きた運動です。

鍛えの夏！皆さんも是非SBWに参加し、読書に挑戦していきましょう！



SBW主催 読書講演会

第一回図書贈呈会が
行われました

中央図書館において、図書贈呈会が7月8日から五日間行われました。

図書贈呈会は、教職員や学

6月20日、看護学部棟302教室にて、SBW主催による読書講演会が開催されました。

看護学部の添田百合子准教授をお招きして、「夢を実現させる読書」をテーマに約1時間の講演を行つて頂きました。

SBWでは後期にも読書講演会の開催を予定していますので、読書が好きな方、そうでない方、これから読書に挑戦してみたい方は、ぜひ参加してみてはいかがでしょうか。



生などの学内利用者を対象として、図書館で古くなつた図書や、寄贈されて蔵書が重複してしまつた図書などを希望者にお譲りする催事です。猛暑の中、今回も多数の教員や学生たちが来場され、受贈されていました。

ラーニング・コモンズの利用状況について

近年の学生の学習形態として、グループによる学習が増えてきたことに対応する形で、本年4月から中央図書館

1階にできたラーニング・コモンズ。図書館報をご覧になつている学生の中にも、既に利用された方がいらっしゃるのではないかでしようか。

4～6月の期間で、ラーニング・コモンズ内の三つのスポット全体で、284組の利用がありました。利用目的の内訳は、ゼミの学習やゼミ以外のグループ学習が最も多く、それぞれ100組近い利用がありました。次いでクラブやサー

クルの打ち合わせでの利用が約50組となっています。

従来のグループ学習室の利用数も、集計期間で214組となつており、利用者はラーニング・コモンズとグループ学習室をうまく使い分けているようです。

期間でそれぞれ110組を超す利用がありました。

利用数の集計をしているのは三つのスポットだけですが、利用申請の要らないフリースペースでグループ学習を行つている学生も数多く見受けられるようになり、

ラーニング・コモンズ全体でのグループ学習やミーティングの利用が、学生たちに受け入れられてきたように感じます。

従来のグループ学習室の利用数も、集計期間で214組となつており、利用者はラーニング・コモンズとグループ学習室をうまく使い分けているようです。